

2011 年度第 2 回事務局会議のまとめ

7月7日（木）午後6時半より、札幌エルプラザ2階会議コーナーで、第2回事務局会議をおこないました。

出席者は、工藤代表、泉事務局長、飯塚、工藤（朱）、小寺、白倉、船木（敬称略）7名です。

議題

1. 6月25日（土）、「生活体験発表」実行委員会の結成と第1回実行委員会について
2. 6月22日（水）、23日（木）札幌市議会文教委員への挨拶回り
3. 6月29日（水）、札幌市教委への挨拶回り
4. その他

当日午後2時より、大坂さんの「札幌遠友塾」写真展で配布する「第1回道内自主夜中生活体験発表記録誌」の印刷製本（400部）作業を行いました。

1. について

「北海道に夜間中学をつくる会」と各自主夜間中学とで、実行委員会を立ち上げて「生活体験発表」を行うこと、そこで話された内容がそれぞれの自主夜間中学のスタッフ・支援者さんなどに十分伝えられていないとの指摘について。

普段の授業の積み重ねから、受講生や学習者さんたちが自分の体験を話し、それがその後の学習に良い影響を与えていること。また、それぞれの体験交流は自主夜間中学の意義を改めて確認することにつながる。

そのことは受講生や学習者さんとスタッフ・支援者たちにとって、「お互いに学び合う」ことの意味を知ることになる。

各地の自主夜間中学では、授業運営にさまざまな課題をもち、とりわけ授業が「教える」立場からの一方通行になり、授業が難しくなり、受講生などからの不満もでてくるといったことなどがある。

それらのことなど、各地の実情を考慮しながら、受講生・学習者さんとスタッフ・支援者たちの自主的な取組から、実行委員会が動きだすようにしていきたい。

実行委員会の費用問題は、「つくる会」予算の昨年実績の発表者3名の宿泊・交通費を元に、各地で決める発表者数が決まってから、按分調整をはかる。また、スタッフや支援者さんにも多く出席してもらいたいことから、それへの費用補助を検討するようにしたい。

函館遠友塾は年会費に参加予算が含まれていないため、各地の費用按分を

元にしながら、札幌遠友塾からの財政的支援もお願いしたい。

第3回目は、釧路で行いたいとの要望も寄せられている。

各地からの体験発表の内容は、7月20日までにまとめられてくるので、それから体験発表の内容が肉付けされる。

2. について

別紙の報告にまとめた通り。

市民ネットワーク石川議員とは、今回急用で挨拶できなかったもので、後日改めて話し合いをもつようにしたい。

また文教委員で新人議員には、遠友塾の授業を見学に来ていただき、議会や委員会で質問をするようお願いする。

3. について

別紙の報告を参照

学校教育部が議会（子どもの権利条例関係）で出席できなかったもので、後日、話し合いをする。

札幌遠友塾は授業に充実に向け、札幌市教委と具体的な話し合いをしていく。そのためには、遠友塾内部での意思の確認やある程度合意につくりあげてもらおう。それをもって市教委と話し合いを行う。

また、当面の課題がないとしても、三者協議を持つことも検討したら良いのではないか。

4. その他

「埼玉にも夜間中学を！」交流会の参加状況を確認する。遠友塾ではまだ参加受講生が決められていないようだ。

工藤さんが、4月に亡くなられた溝口さんのお宅に弔問に行ってきました。

次回の開催は、8月25日（木）午後6時半より。札幌エルプラザ2階会議コーナー